

2022年（第8期）
CSAJ スタートアップ支援事業
実施報告



2022年1月～12月

CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合
無限責任組合員 一般社団法人ソフトウェア協会

目次

1.はじめに	2
2.CSAJ スタートアップ支援事業の事業背景	3
3.実施体制	4
(1)実施体制図	4
(2)CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合	4
(3)運営委員会	5
(4)投資委員会	6
(5)諮問委員会	6
4.スタートアップ企業の支援実施概要	7
(1)スタートアップ企業の募集と応募について	7
(2)投資委員会にて決定した支援先の状況について	7
5.総括	9

1.はじめに

CSAJ スタートアップ支援事業は、2015 年度から「起業家が起業家を育てる好循環」を創り、その中から『世界を変えるような革新的なソフトウェア』を生み出すことを目標とし、「CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合（略称：CSAJ ファンド）」を設置し、始めた事業である。

これまで CSAJ ファンドでは、革新的なソフトウェアとして、政府が進める第 4 次産業革命及び DX（デジタルトランスフォーメーション）に貢献するような製品、サービスを生み出すソフトウェア（IoT、ビッグデータ、AI、データ連携など）の事業化を考えている企業などを対象に投資してきたが、資金面だけでなく各種の経営相談（P マークの取得、業務提携企業の紹介、他社の参考事例の助言等）などのソフトな支援もしてきた。

投資実績も 2015 年以來累計 23 件（既存投資先への再投資 1 件を含む）、22 社に約 169 百万円の投資額となったが、本事業も 8 年目を迎えたところで、昨年のモビルス株式会社(2021 年 9 月に IPO（新規上場）)に続き tripla 株式会社 が 2022 年 11 月に IPO を果たし、ついに同年 12 月末には出資額の約半分に当たる 146 百万円を当ファンドの各出資者に分配できた。さらなる IPO に向けて私を含めメンターの皆様の役割はますます重要であるとともに、米国に根付いている起業家が起業家を育てる好循環が実践されていることを本当にうれしく思っている。

今後とも、CSAJ ファンドが所有する株式について、事業譲渡や新規増資に伴う株式の売却、経営者による株式の買取りなどへの対応を慎重に進めていくとともに、来年度以降もさらに IPO が一社でも当ファンドから生まれることを祈念している。

一般社団法人ソフトウェア協会
CSAJ スタートアップ支援事業 運営委員会
委員長 和田 成史

2.CSAJ スタートアップ支援事業の事業背景

(1)日本で起業家が起業家を育てる仕組み（ファンド）が必要

ベンチャー企業は経済を活性化させる重要な役割を担っている。それは米国の IT 系ベンチャー企業が米国経済を牽引している現状をみれば、疑問の余地はないだろう。その中には時価総額数十兆円の Google や Facebook が含まれている。重要なことは、チャレンジがあるからイノベーションが生まれ、世界を変えるソフトウェアが生まれてくるという点にある。

米国にはスタートアップ・アクセラレータと呼ばれる組織がいくつも存在する。スタートアップ・アクセラレータは、シード期のベンチャー企業に投資するだけでなく、起業家を教育・訓練する仕組みを持っており、起業経験者が起業家を育てるといった好循環エコシステムの一部になっている。日本にもこうした起業家を育てる仕組みが必要との認識から、そのような志を一にする CSAJ 会員企業がシード期のベンチャー企業に投資を行うこととなった。

(2)ソフトウェアで世界に挑む -ソフトウェア分野におけるスタートアップを支援

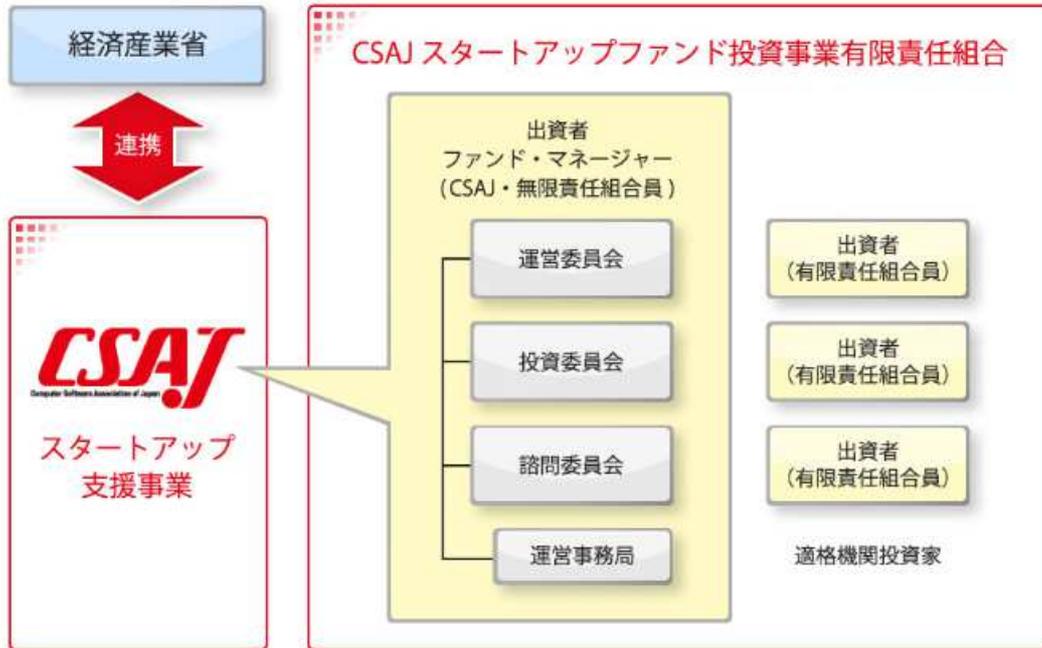
IT分野では、非IT分野と比べて、起業の必要資金が少なく事業化が容易だと言われている。特にソフトウェアのような知識集約型産業では、もっと多くのベンチャー企業が生まれても不思議ではない。そうしたチャレンジが増えることによって、世界を変えるイノベーションが生まれる可能性が高まることが期待できる。

そこで日本のソフトウェア産業の業界団体として35年の歴史を刻むSAJでは、ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップを公募、選定し、出資を行うとともに、SAJ会員企業の経営者等による経営指導、メンタリング、教育・訓練等を行う「CSAJスタートアップ支援事業」を2015年6月よりスタートした。

3.実施体制

CSAJスタートアップ支援事業は、以下の体制で実施した。

(1)実施体制図



(2)CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合

支援対象のスタートアップ企業に出資するため、2015年6月15日に組成した「CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合(以下、「CSAJファンドという」)」においては、SAJが無限責任組合員(以下「GP」という)の役割を担い、SAJ内に「運営委員会」「投資委員会」「諮問委員会」をそれぞれ設置した。CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合の概要は以下の通り。

ファンド名称	CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合 (略称：CSAJファンド)
無限責任組合員(GP)	一般社団法人ソフトウェア協会(略称：SAJ)
出資規模	2億8,500万円
組成日	2015年6月15日
存続期間	7年を想定
組成組合員	一般社団法人ソフトウェア協会(GP) 株式会社豆蔵K2TOPホールディングス 株式会社フォーラムエイト さくらインターネット株式会社 フリービットインベストメント株式会社 サイボウズ株式会社 株式会社コーエーテクモキャピタル キャピタル・パートナーズ証券株式会社(適格機関投資家) 株式会社コスモ・コンピューティングシステム 株式会社大塚商会 IOTスタートアップ株式会社 前川 徹 株式会社アイビス・キャピタル・パートナーズ

(3)運営委員会

SAJ内に設置した「運営委員会」は、本事業の基本的な方針の決定、事業の運営管理、支援するスタートアップ企業の選定等を行った。運営委員会のメンバーは以下の通り。

和田 成史(委員長)	株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長/SAJ名誉顧問
荻原 紀男	株式会社豆蔵K2TOPホールディングス 代表取締役社長/SAJ名誉会長
青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長/SAJ筆頭副会長
伊藤 裕二	株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長
襟川 恵子	株式会社コーエーテクモホールディングス 代表取締役会長/SAJ名誉顧問
田中 邦裕	さくらインターネット株式会社 代表取締役社長/SAJ会長
清水 高	フリービット株式会社 取締役副社長
高間 徹	
平野 高志	ブレイクモア法律事務所 弁護士/SAJフェロー
黒住 哲理	東京丸の内法律事務所 弁護士
湯川 抗	東京通信大学 教授/国際大学GLOCOM 上席客員研究員
日野 和麻呂	株式会社オービックビジネスコンサルタント 開発本部 部長
善方 正義	EY新日本有限責任監査法人 公認会計士
前川 徹	東京通信大学 教授/国際大学GLOCOM 主幹研究員/SAJフェロー
笹岡 賢二郎	SAJ専務理事

2022年は、計3回の委員会を開催し、主に以下の内容を検討した。

<委員会の開催>

第31回	2022年03月09日(水)
第32回	2022年09月29日(木)
第33回	2022年11月18日(金)

<検討事項>

- 1)2022年度CSAJスタートアップ支援事業について
 - ・2022年のスタートアップ支援先の状況対応について
 - ・今後の投資回収方針について
- 2)CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合(略称：CSAJファンド)について
 - ・第7期CSAJファンド事業報告・決算報告について
 - ・第8期CSAJファンドの投資先の状況について
 - ・第9期CSAJファンドの年間計画(案)および予算(案)について

(4)投資委員会

SAJ内に設置した「投資委員会」では、応募されたスタートアップ企業から最終的な投資候補者を選定し、CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合に推薦。投資決定企業には引き続き各種支援を行っている。投資委員会のメンバーは以下の通り。

荻原 紀男(委員長)	株式会社豆蔵K2TOPホールディングス 代表取締役社長/SAJ名誉会長
和田 成史	株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長/SAJ名誉顧問
青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長/SAJ筆頭副会長
伊藤 裕二	株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長
田中 邦裕	さくらインターネット株式会社 代表取締役社長/SAJ会長
清水 高	フリービット株式会社 取締役副社長
前川 徹	東京通信大学 教授/国際大学GLOCOM 主幹研究員/SAJフェロー
笹岡 賢二郎	SAJ専務理事
アドバイザー	
松原 健二	株式会社セガゲームス 代表取締役社長COO

※必要に応じて、アドバイザーや法務関係の専門家にも参加を依頼した。

2022年は、9月及び11月に臨時委員会を開催し、以下の内容を検討した。また、12月に委員会と投資先企業とのヒアリングを行い、投資先の現状把握と今後の方針等を聞き、アドバイスを行った。

<臨時投資委員会の開催>

第18回 2022年09月29日(水)
第19回 2022年11月18日(金)

<検討事項>

trippla株式会社のIPOに伴う株式の一部売却について
エブリセンスジャパン株式会社/Every Sense Inc.のインバースに伴う今後の持ち株について

<ヒアリングの開催>

2022年12月08日(木) 3社
12月09日(金) 6社
12月14日(水) 4社 計13社

(5)諮問委員会

SAJ内に設置した「諮問委員会」では、CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合契約に基づく取引等に関し、無限責任組合員等に意見を求められた場合など、必要に応じて対応した。諮問委員会のメンバーは以下の通り。

水谷 学	ピー・シー・エー株式会社 取締役相談役/SAJ名誉顧問
筒井 豊春	キャピタル・パートナーズ証券株式会社 顧問

4.スタートアップ企業の支援実施概要

(1)スタートアップ企業の募集と応募について

CSAJ ファンドでは 2015 年の第 1 期から 5 期目となる 2019 年 7 月までスタートアップ企業の募集を行った。

募集にあたっては、SAJ の会員企業等への周知のほか、ベンチャーキャピタル関係者等への個別アプローチを行うほか、独立行政法人情報処理推進機構（以下「IPA」という。）および一般社団法人未踏（以下「未踏社団」という。）の協力を得て、IPA が実施する未踏 IT 人材発掘・育成事業（未踏事業）と連携し、創業を目指すソフトウェア技術者に広くアプローチを行うことができた。

その結果、2015 年 6 月の本事業のスタートからの累計では、以下の通り 88 社となった。

第 1 期(2015 年)	一次募集 (04 月 01 日～07 月 31 日)	15 社
	二次募集 (10 月 01 日～12 月 10 日)	6 社
第 2 期(2016 年)	一次募集 (04 月 01 日～07 月 31 日)	9 社
	二次募集 (10 月 01 日～12 月 10 日)	11 社
第 3 期(2017 年)	一次募集 (04 月 01 日～07 月 31 日)	10 社
	二次募集 (10 月 01 日～12 月 10 日)	9 社
第 4 期(2018 年)	一次募集 (04 月 01 日～07 月 31 日)	4 社
	二次募集 (10 月 01 日～12 月 10 日)	15 社
第 5 期(2019 年)	一次募集 (04 月 01 日～07 月 31 日)	9 社

※新規の募集は 2019 年の第一次募集で終了

(2)投資委員会にて決定した支援先の状況について

※2022年度中に上場が決定した支援企業1社は以下のとおり。

- tripla（トリプラ）株式会社

※2015年より引き続き支援している13社は以下のとおり。（2022年12月31日現在）

- Bank Invoice（バンクインボイス）株式会社
- 株式会社eBook Cloud（イーブッククラウド）
- 株式会社プレミアムアーツ
- 株式会社Manabelle（マナベル）
- 株式会社Mealthy（メルシー）
- 株式会社円簿インターネットサービス
- 株式会社インサイト・プラス
- トリムマーク株式会社
- エブリセンスジャパン株式会社
- キャップクラウド株式会社
- 株式会社パルソラ
- ライフログテクノロジー株式会社
- 株式会社toraru（トラル）

※上場企業

- モビルス株式会社

なお、支援企業へは引き続き下記の支援を行っている。

○CSAJ スタートアップ公式サイトへの採択企業のロゴ掲載

<http://www.csajstartup.com/>

STARTUP RESULTS

支援先企業を紹介します。

 <p>BANK INVOICE 紙をなくす会社。</p>	 <p>Ebook Cloud</p>	 <p>Premium ARTs</p>
Bank Invoice株式会社	株式会社eBook Cloud	株式会社プレミアムアーツ
 <p>あなたをそだてる。 Manabelle</p>	 <p>Mealthy</p>	 <p>MOBILUS</p>
株式会社Manabelle	株式会社Mealthy	モビルス株式会社（2021年9月2日 東証マザーズ(現・東証グロース)上場)
 <p>tripla</p>	 <p>円簿 インターネット サービス</p>	 <p>Insight+</p>
tripla株式会社（2022年11月25日 東証グロース上場）	株式会社円簿インターネットサービス	株式会社インサイト・プラス
 <p>TRIM-MARKS</p>	 <p>EverySense</p>	 <p>CAP CLOUD</p>
トリムマーク株式会社	エブリセンスジャパン株式会社	キャップクラウド株式会社
 <p>Parsola</p>	 <p>LIFE LOG TECHNOLOGY</p>	 <p>toraru</p>
株式会社パルソラ	ライフログテクノロジー株式会社	株式会社toraru

5.総括

2015年に経済産業省より受託した『平成26年度補正「先端課題に対応したベンチャー事業化支援等事業（ITベンチャーのスタートアップ促進事業）」の結果を受け、SAJでは、2015年6月に組成したCSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合（CSAJファンド）と協力し、CSAJスタートアップ支援事業を2022年も継続して実施した。

2022年は、CSAJファンドの8期目として、CSAJスタートアップ支援事業の運営委員会・投資委員会と連携し、スタートアップ支援企業への支援はおおむね順調に実施することができた。以下は、事業実施の概要である。

- 1) 2015年に組成したCSAJファンドでは、2016年1月末まで有限責任組合員（LP）を募集し、CSAJを含む13組合員（企業・団体・個人）で組織され、出資約束金額は2.85億円となった。
- 2) CSAJファンドは、金融商品取引法による適格機関投資家等特例業務にしたがってSAJが無限責任組合員（GP）となって運営を行った。
- 3) 2019年（第5期）の一次募集でシード期の投資は終了し、2015年（第1期）から2019年（第5期）までの応募総数は88社となった。今後は投資先企業の成長を見守りつつ、支援を継続する。
- 4) 2019年（第5期）までに投資を決定したスタートアップ企業は22社。そのうち2022年度末までに解散した企業は2社、事業譲渡等で株式売却となった企業は5社となった。
- 5) 2022年11月には、CSAJファンドとして2社目の企業の上場が決まり、第8期期末時点で継続して支援している企業は15社となる。

過去の実施報告は、下記URLよりダウンロードいただけます。

<https://www.saj.or.jp/activity/project/startup/report.html>

- 「2015年（第1期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」
- 「2016年（第2期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」
- 「2017年（第3期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」
- 「2018年（第4期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」
- 「2019年（第5期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」
- 「2020年（第6期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」
- 「2021年（第7期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」

以上

2022年(第8期)CSAJスタートアップファンド支援事業 実施報告

2023年3月 発行

発行 CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合
無限責任組合員 一般社団法人ソフトウェア協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル
TEL : 03-3560-8440
URL : <https://www.saj.or.jp/>

©2023 CSAJ Startup Fund Investment Limited Partnership
Software Association of Japan